

幼児期からの反復症状と治療開始後の浸出期を経て関節部の出血が減った成人アトピーの経過 (39 歳 成人)

症例 ID：001-30-KT | 記録日：2016 年 4 月 15 日

1. 診断・治療前経過

3 歳頃から皮膚症状があり、小学校高学年から高校期には外用薬と内服薬を使用すると一時的に治まり、数か月後に再発する経過を繰り返しました。

20～30 歳代も年 2 回程度皮膚科を受診していましたが、2013 年 2 月頃から外用薬が効きにくくなり、別の外用薬では皮膚の赤みが強くなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小学校高学年以降、皮膚科で外用薬と内服薬を断続的に使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小学校高学年から 30 歳代半ばまで断続的に使用しました。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3 歳頃	発症	皮膚症状が出始めました。
小学校高学年～高校期	反復経過	外用薬と内服薬で一時的に治まり、数か月後に再発する状態が続きました。
2013 年 2 月頃	来院前の悪化	外用薬が効きにくくなり、皮膚の赤みも強くなりました。
2013 年 4 月	治療開始	顔、首、肘、上半身、膝に症状がある状態で治療を開始しました。
治療約 1 か月後	浸出期	顔、首、肘、膝から透明な浸出液と血が出始め、約 3 か月続きました。
2014 年	変化	顔と上半身の赤みが軽減しましたが、首、肘、膝では出血が続きました。
2015～2016 年	経過中	首、肘、膝から多少出血することはあるものの、基本的には出なくなりました。

4. ピーク時期

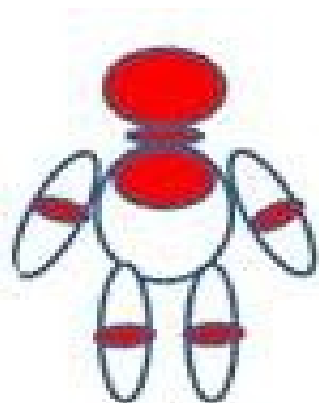
ピークは、治療開始約 1 か月後から約 3 か月間、顔、首、肘、膝から浸出液と血が出て、朝晩の入浴と処置が必要だった時期です。

5. 困りごと

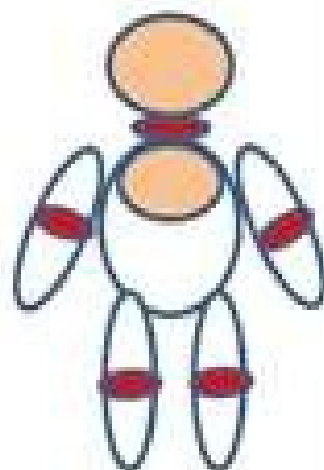
- ・浸出液と血でシャツやネクタイが汚れ、仕事上の負担となりました。
- ・朝は固まった皮膚をシャワーで落としてから処置する必要がありました。
- ・休日には 1 日に 3～4 回入浴することがありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

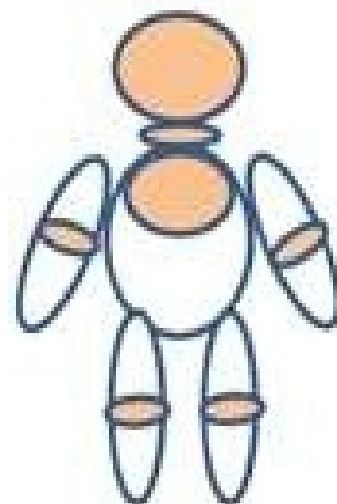
(1) 症状部位の経過図



2013 年の症状部位。

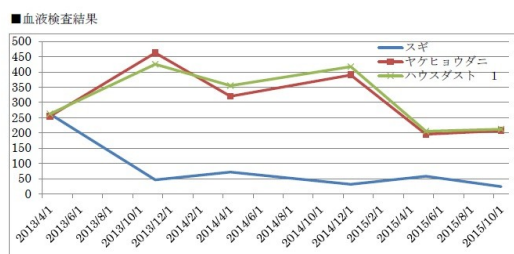


2014 年の症状部位。

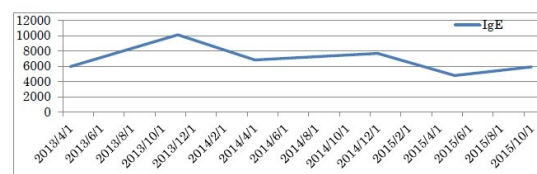


2015～2016 年の症状部位。

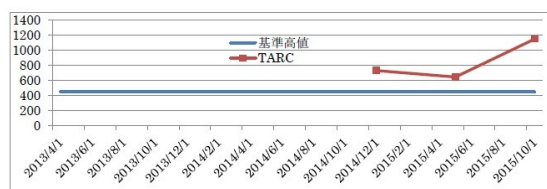
(2) 検査値グラフ



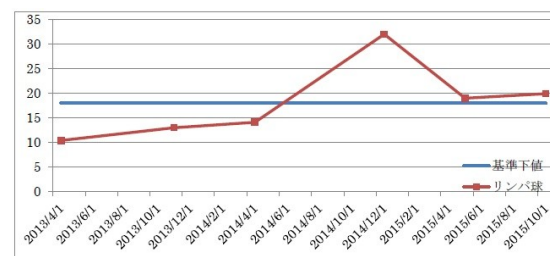
経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。



経過中の検査値の推移。

7. 経過のまとめ

2014 年には顔と上半身の赤みが軽減し、朝の入浴が不要となりました。

2015～2016 年には首、肘、膝からの出血が基本的にはみられなくなり、日常の処置を続けながら治療を継続していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。